

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|---|---|---|---|-----------------|
| 補助事業名 | 佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設 (消防に関する施設：中山地区消防詰所新築工事) 整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 西海市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 長崎県西海市西彼町中山郷1974番1 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>本市内の消防分団(58組織)では、迅速な消防・防災活動により市民の生命・財産を守るべく、日々、訓練に励んでいる。 これらの活動の拠点となる消防詰所であるが、当地区では次のような課題を抱えている。</p> <p>①施設が神社の敷地内に立地している。 ②面積がおよそ46㎡と車庫、待機所とも広さが十分でなく手狭である。 ③築後、35年を経過し、老朽化が進んでおり、木部にシロアリの被害が発生した。 ④敷地が前面道路より低く、雨水が車庫部分に流入する。</p> <p>以上のことから、消防団の活動に支障を来している状態であるため、施設の建替え更新により、消防団活動の拠点としての機能の維持・改善を図るものである。</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 消防団詰所新築工事 RC造平屋建 A=61.58㎡ | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成26年度～平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 27年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 18,873,000 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 18,873,000 |
| | 交付金額 | 18,410,000 | | | | | 18,410,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>本消防団詰所を整備したことにより、上記①～④の不具合も改善し、災害時の拠点として対応できるようになり、消防団活動の拠点としての機能向上・改善を図ることができた。</p> <p>団員からも、車庫が広くなったので、積載車の出し入れがスムーズに行えるようになり、迅速な活動ができるようになった等の報告を受けている。</p> <p>施設のシャッターに特定防衛施設周辺整備調整交付金により、施設を整備した旨を記載し、周辺住民に周知を図っている。</p> | | | | | | |
| 事業の改善策及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|----------------|----|----|----|----|----------------|
| 補助事業名 | 佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 西海市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 西海市崎戸町蠣浦郷1646番地28 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>本市、各地区の消防団(58組織)では、迅速な消火活動により市民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。この初期消火には小型動力ポンプ付積載車は必要不可欠であり、非常時に支障が無いよう日々の維持管理が必要である。そのため経年劣化の激しい20年以上経過する車両については、随時、更新していくことで消防設備の維持を図る。</p> <p>本市の消防車は現在79台あり、充足率は100%である。今回20年以上経過した車両のうち1台の更新を行う予定で、今後も現在の台数の維持を図ることを目標とする。</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 小型動力ポンプ付積載車購入(660cc×1台) | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 27年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 計 |
| | 事業費 | 円 4,590,000 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 4,590,000 |
| | 交付金額 | 4,590,000 | | | | | 4,590,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>小型動力ポンプ付積載車を配備した消防団に使用後の報告を求めたところ、これまでの器具の腐食、ミッションギアの摩耗などの不具合が解消され、今後は非常時にはより迅速な対応ができるとのことであり、消防設備の維持に資することができた。</p> <p>また、市ホームページへの掲載や、車両外面への「特定防衛施設周辺整備交付金事業」の記載により、地域住民への周知を行った。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分数及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|---|---|---|---|-----------------|
| 補助事業名 | 佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（教育文化施設：スクールバス）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 西海市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 西海市西海町 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 平成28年4月の西海市立西海西小学校と西海南小学校の統合に伴い、遠距離通学となる児童の通学手段の確保を図る。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | マイクロバス 2台 購入 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 27年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 10,646,640 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 10,646,640 |
| | 交付金額 | 10,646,000 | | | | | 10,646,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>スクールバスの運転日誌による平成28年度の実績としては、運行日数285日、延べ利用児童生徒数39,931人(1日当たり延べ140人)となっており、遠距離の児童の通学手段を確保する事ができていることを確認した。</p> <p>市の広報誌及びHPに、「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業によりスクールバスを整備」との記事を掲載し住民へ周知した。</p> <p>また、車両側面に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」を印字し住民へ周知した。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|-----------------|-----------------|---|---|-----------|-----------------|
| 補助事業名 | 佐世保港に所在する防衛施設関連特定事業（教育スポーツ及び文化に関する事業：西海市防衛施設周辺公園管理基金） | | | | | | | |
| 補助事業者名 | 西海市長 | | | | | | | |
| 実施場所 | 長崎県西海市 | | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 西海市の公園については、地域住民のみならず多くの市民が訪れ、レクリエーション活動等に利用されており、公園緑地の整備と維持管理を日頃から行っている。 そのため、西海市防衛施設周辺公園管理基金を設置し、公園施設等の維持管理運営に充てることで、市内の公園を市民の憩いの場及び地域の交流の場として快適な環境に整えることを目標とする。 | | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 防衛施設周辺公園管理 | | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成26年度～平成37年度 | | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 26年度 | 27年度 | | | | 計 | |
| | 基金造成額 | 交付金額 | 円 16,275,000 | 円 13,725,000 | 円 | 円 | 円 | 円 30,000,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | | | | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 11,236 | | | | 11,236 |
| | | 計 | 16,275,000 | 13,736,236 | | | | 30,011,236 |
| | 基金処分類 | 0 | 2,518,000 | | | | 2,518,000 | |
| | 基金残額 | 16,275,000 | 27,493,236 | | | | | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 利用者へのアンケートの結果、8割以上が概ね快適に利用できたとの回答であり、憩いの場及び地域の交流の場として快適な環境づくりに寄与することができた。 また、維持管理業務については委託しており、不具合等の発生状況を確認し適切に管理運営を行っている。 地域住民への周知については、公園の環境整備に特定防衛施設周辺整備調整交付金が使われていることを、ホームページへの掲載や、看板記載により実施した。 | | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。